

進展国 二輪事故
低減の実現

海外での普及活動

各国の交通事情に即した普及活動を支援



海外でのお客様や地域社会へ交通安全を伝える活動は、Hondaの現地法人・関係拠点が主体となって展開し、世界36カ国(日本を除く)で活動しています。特に、海外の進展国においては販売店でのお客様への納車時安全啓発や、交通教育センターでの実践教育、女性のお客様や子どもを対象とした安全教育を中心に、政府や関係団体と連携しながら各国の交通事情に即した活動が活発に展開されるよう支援を行っております。

インド国内の普及活動を担う チーフインストラクターを養成

インドでは急速な経済発展に伴い、二輪車の保有台数増加と事故急増が懸案で、お客様に安全運転を伝える販売店のインストラクターの養成が急務となっています。

Honda Motorcycle & Scooter Indiaでは、指導者となるチーフインストラクターを3名養成。この3名は交通教育センターレーンボー埼玉で11日間にわたる養成研修を受講しました。(上記写真参照)今後、このチーフインストラクターが中心となって、販売店のインストラクター養成を進めていく予定です。

各国の安全運転実務責任者が 情報共有できる場を提供

今年も、各国の安全運転実務責任者を集めた「Safety Driving Managers Meeting」を鈴鹿サーキットで開催。日本、タイ、ベトナム、インド、ブラジル、トルコ、マレーシアの7カ国から活動を行う現地法人や事業所の責任者15名が参加しました。今後の活動のレベルアップおよび活性化を図ることをめざし、タイやベ



タイのAP Hondaは専門学校コミッションとディーラーが協力して314の専門学校へ安全運転教育を展開



ベトナムのHonda Vietnamは、ディーラーでのお客様への店頭活動や、地域社会への活動を行っている



鈴鹿サーキットでの「Safety Driving Managers Meeting」



トナムでの好事例の共有や、販売店における安全運転普及活動のあり方などについてパネルディスカッションなどを行いました。